



ゴミが だいぶつないきもの ガジガジが いました。
ガジガジは、ちゃんと うねねた いきものです。

ガジガジは、ゴミを たべてもりやかねやまちを
きれいに しながら たびをして います。



きょうも ガジガジは もりのなかを
ガサゴン ガサゴン と
すくんで いるヒ おおきなまちに
たどりつけました。

まち
まちはなんだか
よごれてる
ぶーんと
においがします。



ガツガツは、まちにはいったときました。
まちの「りぐちから」おおきなたぐものが
たちならんでいます。

「モル」

ガジガジは、みちばたにおちて一々言ふ

卷之二

「シヤンシャヒタベはじめました。」

あつちにも、こつちにも、ゴマがおちてこま。

丁巳 + 丁巳 + 丁巳 +

ガラガラ

二三九

「」

どうからゴミが



「へいは よこから ゴミが とんでもました。

ガジガジは まわりをみるヒ、

こには まちのひとたちが ゴミを もつて
なげるかまえを して いました。

「べー
ー！」

「ベー
ー！」

まちのひとたちが ガジガジに
ゴミを なげつけてきました。

ゴミを たべて いる ガジガジに とつては

よくあることです。

ガジガジは ヘーきです。



ガジガジはなげつけられたゴミをひきつ
まちを でました。

それから また ガジガジは
ゴミが あるところをめざし、
たびを つづけます。

し
ば
ら
く

つ
き
ひ
が

な
が
れ
ま
し
た。

それから ガジガジはまた あのおおきなまなへ
いってみよっとおもい おとずれました。

すると

まちじゅう ゴリで
あふねかえって いました。



か ガ ベ
 た ジ フ
 つ ガ の
 ぱ ジ ひ
 し ょ と
 か ら う
 ま ま
 ち た
 ジ ジ
 ゆ ま
 う と
 で ま
 し み
 ょ み
 う み
 か ま
 た ま
 べ ま
 ま し
 た。
 ゴ ミ を
 た ち
 が ジ バ
 じ が
 を た
 が べ
 し ま
 ま が
 に じ
 せ き
 か き
 つ か
 し か
 て く
 た よ
 う う
 で す。

シ
ヤ
シ
ヤ
シ
ヤ
シ
ヤ
シ
ヤ



あれ？

いつものようにからからゴミがふってきません。

どうしたのでしょうか？

まちのひとたちはガジガジのとばまでまでは

「たべておくれ」

ヒマチのひとたちはつぎちぎに
ゴミをはこんできました。

ガジガジはまちのひとたちの
ぶんとするにおいに
なにもうおらずたべづけました。

あれ？

いつものようにからからゴミがふってきません。

どうしたのでしょうか？

まちのひとたちはガジガジのとばまでまでは

「たべておくれ」

ヒマチのひとたちはつぎちぎに
ゴミをはこんできました。

ガジガジはまちのひとたちの
ぶんとするにおいに
なにもうす
たべづけました。

J. H. + J. H. + J. H. +

ガジガジは
おおなか
いっ
ぱ
いに
なりまし
た。

ガジガジナ

たべきねなかつた
ゴミをもつて
まちをでました。

ガジガジナ

またここのまなぶにおよぎあるひが
こなによううに
とおがいました。



ガジガジは
たべきれなかつた
ゴミをもつて
まちをでました。



ガジガジは
またこのまちにおよざれるひが二なりよう
と、おがいました。

